

第四次浦添市総合計画

第 2 回 まちづくり市民会議

1 次回以降の作業イメージについて

1. 第 3～7 回（グループ別会議）の作業手順について

総合計画は、“このようなまちをめざす” などといったとりまとめた浦添市の将来像や理念、大きな目標・方向をとりまとめた『基本構想』と、基本構想で定めた目標の具体化に向けて、都市基盤・産業振興、教育・文化、健康・福祉、都市景観・環境保全等といった各分野別に、具体的に取り取り組む内容をまとめる「基本計画」から構成されています。

作業の手順としては、

○まず、最初に浦添市の「特徴（良い点・個性）」や日常生活で感じる「生活課題」について抽出し、話し合い（Step2（第 3 回））ます。

○次に、これらの課題を解決して、良い点をもっと伸ばして、“こんな浦添市（まち）にしたい” というイメージを考えます（Step3（第 4 回））。

○Step2 で抽出した「特徴」や「生活課題」または、Step3 で抽出した「望ましいまちの姿（まちづくりの方向性）」をもとに、具体的な取組みを考えます（Step4（第 5 回、第 6 回））。

（例えば、具体的な取組みについて考える場合、課題を解決するためにはどのような取組みを行えば良いか、あるいは、「望ましいまちの姿（まちづくの方向性）」を達成するための必要な取組み内容（具体施策）について考えると、比較的考え易いかもしれません）

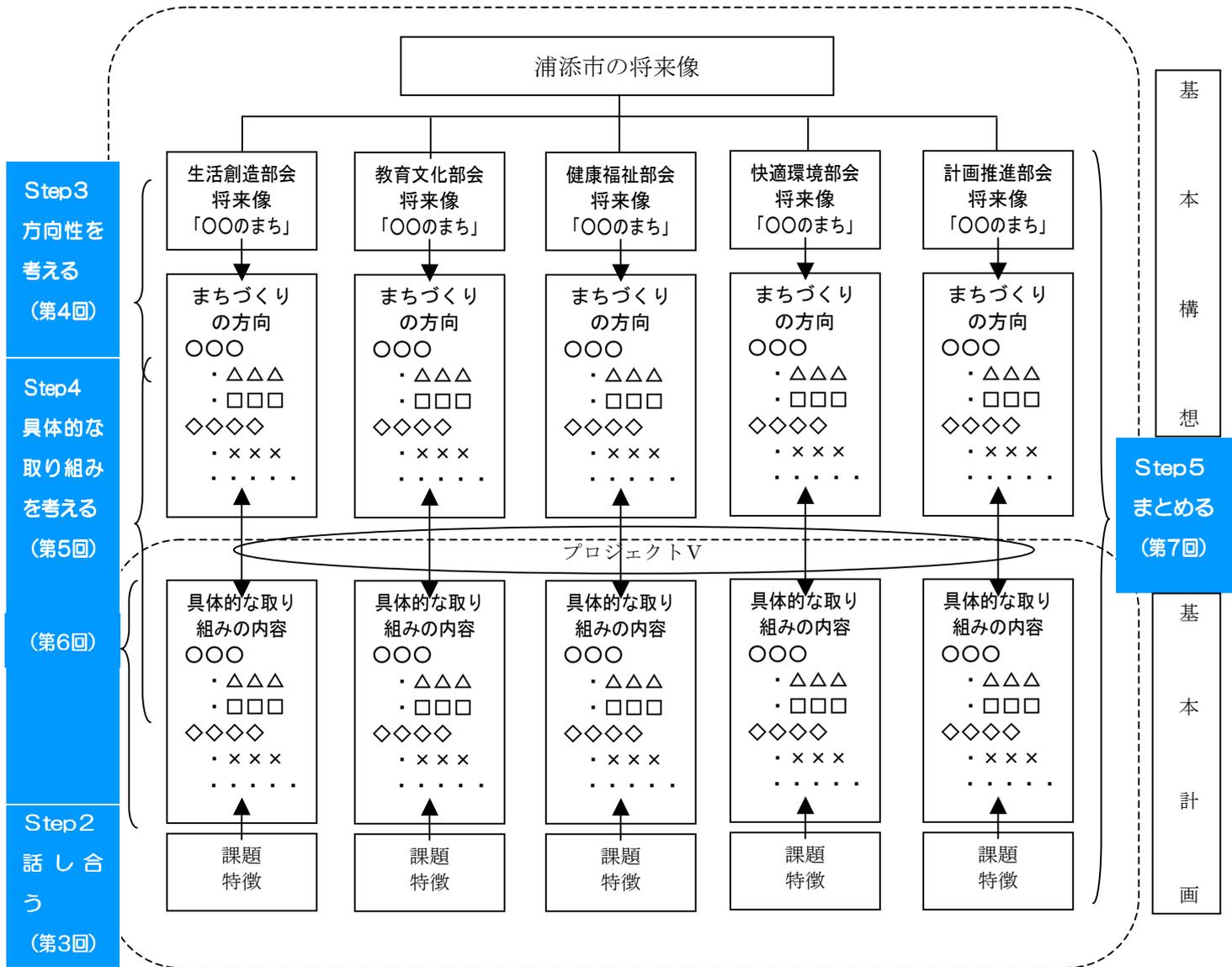
○これまでの Step2～4 の作業手順を踏まえて、各部会で「浦添市の望ましい姿（将来像やまちづくりの方向『基本構想』のたたき台）」と「具体的な取組みの内容『基本計画』のたたき台」をとりまとめ（Step5（第 7 回））、市民の言葉による「市民案」を検討します。

※意見の抽出については、各部会に分かれて、参加者各自でポストイットに記入し、領域ごとに張り出し、それぞれの領域の内容について意見交換（ポストイットを使った情報集約方法（KJ 法））を行います。各回で行う意見交換（情報集約方法）の手順は p3 のとおりです。

※ちょっとした豆知識

KJ 法とは、1960 年代に、文化人類学者 川喜多二郎氏が、ネパール・ヒマラヤの探検など、多年にわたる野外調査の実践から生み出された、いわば「野外科学」「現場の科学」の方法です。

まちづくり市民会議のフロー（イメージ図）



2. 第3回まちづくり市民会議（グループ別会議）の進め方について

グループ別会議のテーマ「生活課題と特徴の洗い出し」

- ・部会ごとに分かれて、平成 20 年度に整理した基礎調査報告書（主要施策の点検・評価）等を活用しながら、各人が感じている生活課題と特徴について、KJ法を用いて意見の抽出・整理を行います。
- ・意見の抽出・整理（KJ法）の方法は、以下の通りです。

<ポストイットを使った情報集約の方法>

1. 市民会議の各開催テーマにしたがった情報の抽出

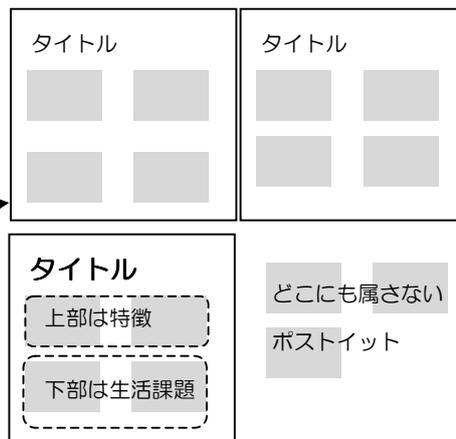
- ・各部会の参加者は、それぞれのポストイットに情報（たとえば、「日ごろ感じる生活課題」）を記入します。
- ・必ず1枚のポストイットに短い文章を横書きで記入します。

裏面のり	
（「生活課題」の例として） 国道や県道は交通渋滞し、交通の利便性が悪い	（「特徴」の例として） 近い将来、沖縄都市モノレールが開通する

2. 情報（記入したポストイット）のグルーピング（分類）

- ・各部会の進行役（部会長）は、参加者に1枚ずつ記入したポストイットを読み上げてもらいながら、意味内容に近い情報（読み上げたポストイット）を大きな白紙の紙（模造紙）にグルーピング（分類）します。

注意点：各部会の進行役（部会長）は参加者の一人ひとりの想いを引き出し、1枚1枚のポストイット（情報）を良く吟味することが大切です。



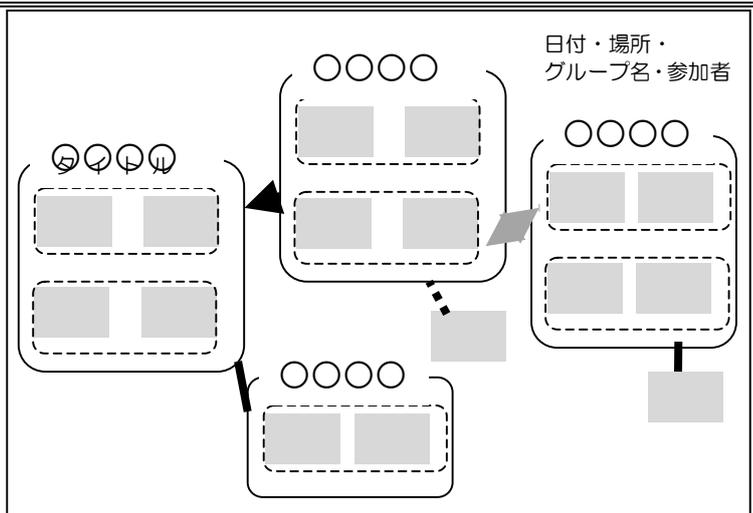
3. グループにタイトルをつける

- ・グルーピング（分類）した情報をよく味わって、それぞれのグループにタイトルを書き込みます。

注意点：その際のグルーピングされた情報（グループごとのポストイット）の意味内容がそこなわれないようタイトルの表現に気をつけます。そのためにも、グルーピング（分類）やグルーピングされた情報（ポストイットの内容など）を各部会の参加者全員でよく吟味してください。

4. タイトルをつけたグループ等を関係性で結びます。

- ・グループごと位置や各グループの関係性をシュミレーションします。各グループの位置が決まったら、グループごとに輪で囲み、関係線を書き込みます。
- ・最後に、日付・場所、グループ名、参加者名を記入します。



2 次回までに考えていただきたいこと

次回（第3回 8/7（金）市民会議）では、「日ごろ感じる生活課題」と「浦添市の特徴」を各部会のテーマとして、ワークショップ（意見交換）を行います。

そのため、次回までの宿題として、以下の2つのテーマ（「課題」と「特徴」）について、一人各領域別に3つ以上のことを考えてください。

1. 浦添市の「課題」について（領域別に3つ以上）

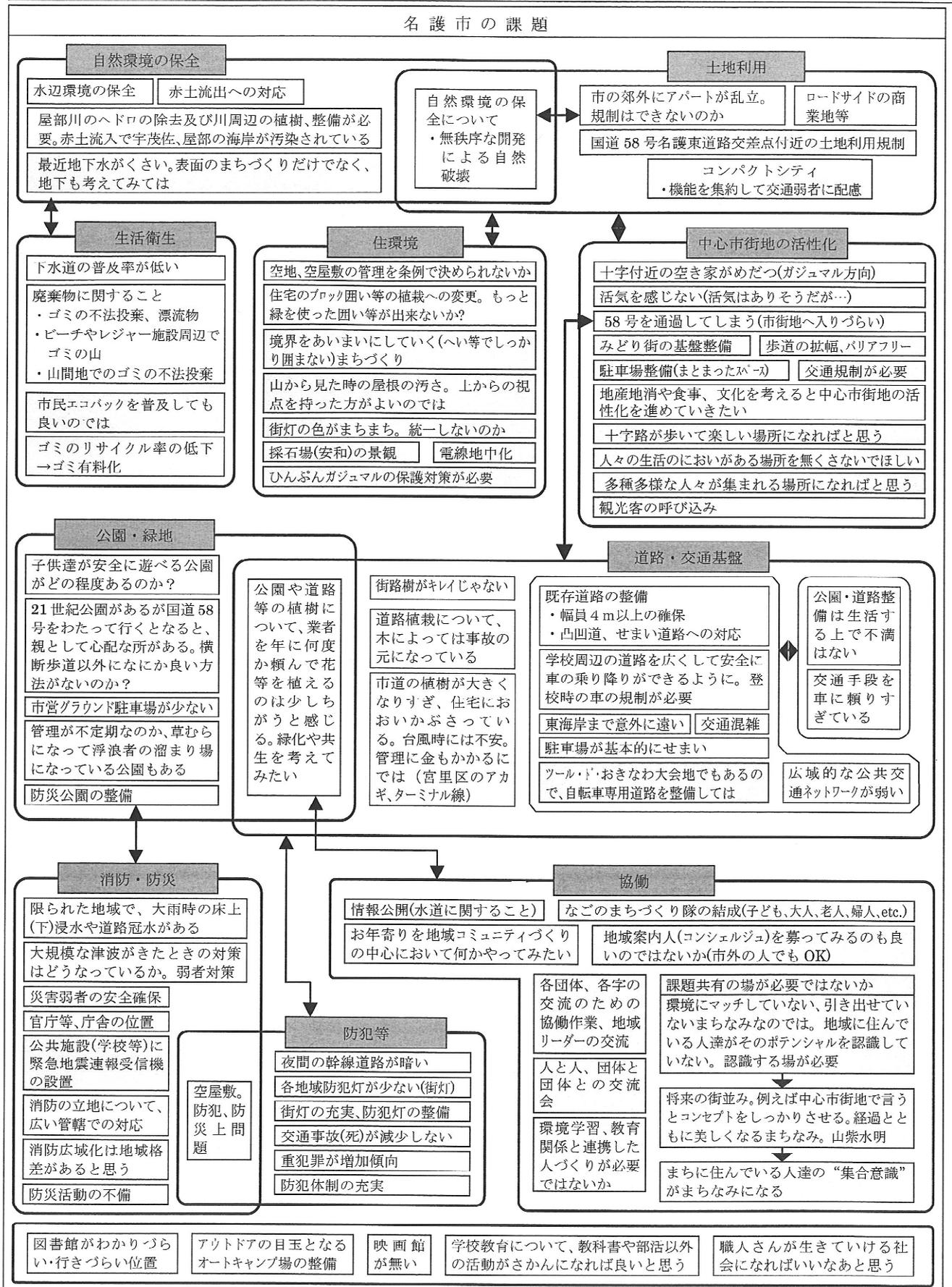
○日頃感じている浦添市で困っていることや改善したい点 など

2. 浦添市の「特徴」について（領域別に3つ以上）

○浦添市の良い点や特徴的なこと など

課題

第3回市民会議のアウトプットイメージ



＜各部会で話し合っ頂く領域＞

部会名	分野（テーマ領域）
生活創造部会	1) 都市基盤整備に関する事 (道路・交通 (モノレール)、幹線道路、生活道路、上水道・下水道など) 2) 産業振興に関する事 (商業・商業環境、工業、観光産業、伝統産業、IT産業、農業、水産業、地産地消、就労・雇用など) 3) 港湾整備・西海岸開発に関する事 (港湾、物流と新産業拠点、海浜環境、観光リゾート・新規産業、臨港交通、港湾環境の保全と創出など) 4) 米軍基地跡地利用に関する事 (牧港補給地区の跡地利用、米軍基地対策など) 5) その他、豊かな魅力ある暮らしづくりに関する事 (情報通信・情報環境など)
教育文化部会	1) 学校教育に関する事 (幼稚園、小学校・中学校、高校、青少年の健全育成など) 2) 生涯学習に関する事 (生涯学習・スポーツレクリエーションなど) 3) 文化振興に関する事 (文化活動、伝統・芸術、地域文化、文化財など) 4) 国際交流に関する事 (国際協力、県内外の交流、平和活動など) 5) その他、いきいきと輝く暮らしづくりに関する事
健康福祉部会	1) 地域福祉に関する事 (地域福祉・保健・医療サービス、健康づくり、福祉のまちづくり・ユニバーサルデザインなど) 2) 子育て支援に関する事 (子育て支援、保育サービスなど) 3) 障がい者福祉に関する事 (ノーマライゼーション、障がい者の在宅支援・就労支援など) 4) 高齢者福祉に関する事 (介護予防、高齢者支援など) 5) その他、安心して健やかな暮らしづくりに関する事 (健康増進、国民年金、母子・父子 (ひとり親)、生活保護など)
快適環境部会	1) 地域防災に関する事 (地域防災対策 (自然災害対策等)、消防・救急など) 2) 防犯・交通安全に関する事 (防犯、交通安全対策、消費者保護など) 3) 環境保全に関する事 (環境共生、海浜・河川・緑地の保全・活用、公害防止、ゴミの減量化、リサイクル・エコ活動、廃棄物処理、水質等の浄化) 4) 都市景観に関する事 (まちなみ、緑地・公園、道路植栽・緑化活動、水辺 (海浜・河川等) の創出、墓園など) 5) その他、安全で快適な暮らしづくりに関する事
計画推進部会	1) 住民自治に関する事 (市民・企業・行政による協働のしくみづくり、市民活動の支援など) 2) 計画的・効率的なまち経営に関する事 (事務事業の効率化、行政評価、財政運営・民間活力など) 3) 地方分権・広域連携に関する事 (効率的な行政運営、行政改革の推進、地方分権・権限委譲、国・県・広域との連携など) 4) 男女共同参画に関する事 (男女平等、女性の社会参加促進など) 5) その他、分権社会型社会の実現に関する事